

別記様式 2

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第 1 回武蔵村山市介護保険運営協議会
開 催 日 時	平成 2 0 年 5 月 2 7 日 (火) 午後 3 時 3 0 分
開 催 場 所	市民総合センター 3 F 会議室
出席者及び 欠 席 者	出席者：杉本委員 川又委員 藤田委員 北新居委員 武内委員 齊藤委員 加園委員 金澤委員 中西委員 永島委員 (1 0 名出席) 欠席者：石橋委員 事務局：高齢・障害担当部長、高齢福祉課長、長谷主査、清野主査、 三條主査、 傍聴者：なし
議 題	会議に先がけ、市長から介護保険運営協議会に武蔵村山市老人 福祉計画及び介護保険事業計画の策定に関する事項について諮 問がなされた。 報告事項 1 平成 1 9 年度第 3 回介護保険運営協議会会議結果に ついて 報告事項 2 要介護・要支援認定の状況について 議題 1 第四期武蔵村山市介護保険事業計画の策定について 議題 2 その他

<p>結 論 (決定した方針、処理、 残された問題点や保留 事項などを記載する)</p>	<p>議題 1 について</p> <p>事務局より、計画全体についての説明が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画策定の主旨 ・ 計画策定の背景 ・ 介護保険制度の動向と計画策定の視点 ・ 計画の位置づけ ・ 計画の期間 ・ 計画の構成 ・ 策定体制 ・ 計画策定のスケジュール <p>前計画との変更点として、計画の位置づけと計画の期間について説明が加えられた。</p> <p>計画の位置づけ・・・今計画が、武蔵村山市第3期長期総合計画の中の高齢者福祉部門であり、老人福祉計画と介護保険事業計画とは“一体のものとして作成”すること。</p> <p>計画の期間・・・今回策定する介護保険事業計画にあわせて、老人福祉計画についても同様に平成23年度までの計画とすること。</p> <p>事務局より配布資料(「武蔵村山市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定のための基礎調査」より抜粋)にしたがって報告された。</p> <p>議題 2 について</p> <p>次回会議日程について各委員調整し、7月31日(木)午後5時からと決した。</p>
--	---

<p>質 疑 等</p>	<p>(会 長) 計画のスケジュールのことなどで質問はあるか。</p> <p>(委 員) 事務局への質問だが、両計画を見直すということだが、それぞれの計画の時期があわなくなるのではないか。</p> <p>(事務局) 老人福祉計画と介護保険事業計画は一体として見直すように定められています。</p> <p>(会 長) 老人福祉計画の中の介護保険事業計画なので、一緒に見直す必要がある。国は介護保険事業計画を立てるように言っているが、両計画の時期が違っているので、高齢者全体</p>
--------------	---

	<p>の3か年について考えることになる。</p> <p>(会長) 計画の策定体制について、策定委員会は内部だけで行うのか。</p> <p>(事務局) 内部の策定委員会と外部の運営協議会とを両輪として原案を作成することになっています。</p> <p>(委員) 地域包括支援センターの認知状況の調査結果について、約7割が「知らなかった」とあるが。</p> <p>(事務局) はい。他の市町村においても認知率は低いようです。</p> <p>(委員) ということは、まずはPRが大切ではないか。</p> <p>(会長) これから「予防」になってくるので、地域包括支援センターのことを知ってもらう必要があると思う。</p> <p>(会長) 計画策定の視点としてご意見があればどうぞ。</p> <p>(委員) 国の予算などによって、計画を立てても変わってくるのではないか。</p> <p>(会長) 別な形での抑制も出てくるだろう。国の動向、改正の状況を見つつ考えていくことになるだろう。</p> <p>(委員) 老人が多くなると介護保険料が上がるのは仕方ないが。払わない人が出てくると、保険制度としてバランスが悪くなるのではないか。バランスが難しい。</p> <p>(委員) 他市町村と比べると、武蔵村山市は認定者数が少ない。今後増えていけば保険料を上げざるを得ない。予算もあるので、すり合わせになると思うが。また、10月11月には国からの中身も分かってくるので、それ次第では方向転換もあるのではと思う。</p> <p>(委員) 保険料というのは、いろんな公益法人に余っていて繰り越しているもので、そういう部分のうまい使い方を考えられればと思う。介護保険料の在り方については、後期高齢者が増えることを嘆いても仕方がないので、若年者に来てもらうことを考えることも必要。産婦人科や病院など、老人だけでなく全体として町づくりをやっていくことが大事だと思う。高齢者も定年で働かないのではなく</p>
--	---

	<p>て働き方の工夫なども関連させて全体計画を作れば介護保険料も下がるのではないか。</p> <p>(委員)武蔵村山は子どもが多いが、学力が低いといわれている。町づくりを考えるならば、介護のことだけでなく子どもの学力のことを考えることも大切だ。</p> <p>(委員)市の中に介護保険を適用している施設があるが、一番は人材が問題だ。例えば、職員を70名集めようとしても交通手段がないので、介護をする人材が極端に集まらない。人材の質の向上を考える必要がある。インドネシアからの受け入れが決まったが、問題となるのは、来た人の支援のこと。インドネシア人の看護師が来るが、支援が問題。日本で介護福祉士になるためには、日本語教育も必要になってくる。受け入れを決めただけではいけない。市民のことを考えれば、人材確保を町ぐるみで考えるべきだ。市は広い視野で検討してもらいたい。</p> <p>(会長)今後、市の長期構想、地域計画等いろいろな視点でみていきたい。それぞれの立場からご意見を出していただき進めていきたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--

会議の公開・ 非公開の状況	<p>公開した 傍聴者：なし</p> <p>非公開とした（非公開とした範囲：全部・一部）</p>
	非公開とした理由

会議録の公開 ・非公開の別	<p>公開</p> <p>非公開（武蔵村山市公文書公開条例第9条第1項第 号に該当） （その他の事由 ）</p>
------------------	--

庶務担当課	健康福祉部高齢福祉課管理グループ（電話590-1233）
-------	------------------------------

（日本工業規格A列4番）